

日本選手コメント【7月12日】

◆菅野新菜選手(みやぎ TFC) T20 400m 決勝

「緊張しました。やっぱり周りが予選より決勝の方が勢いよくいっていたので、びっくりしました。周りが速い選手で、頑張っついていきましたが、ちょっと離れてしまった。頑張っ少し縮めたけど、まだ、1分かかってしまった。これから頑張ります。自分も勢いをつける練習とか、あとは筋トレとかを頑張っいきたいなと思います。」

◆生馬知季選手(GROP SINCERITE WORLD-AC) T54 400m 決勝

「正直、自分よりタイムが上の選手ばかりだったが、自分の中では誰かを抜きたいっていうような思いがあったので、最終着の結果は、正直、悔しいところもあります。走りとしても予選に比べて、後半、疲れて失速してしまったので、やはり、まだまだだなと。決勝で、気持ちが高ぶって、ついつい序盤に出力を出しすぎてしまったところがあったのかなと。そこはまだまだ経験不足だと感じました。疲労はもちろんあったが、出場している選手全員が同じ条件なので、そのなかでパフォーマンスを出すというところで、まだまだ自分の課題があるなと今回、感じました。

(メイン競技の100mにむけて) 4位以内を狙える力がついてきていると自分の中でも自負がある。ただ、ベストパフォーマンスを出さないと厳しい。2日空くのでしっかり休息と調整をして、まずは予選で、ベストパフォーマンスを出せるように頑張りたいと思います。」

◆唐澤剣也選手(SUBARU) T11 1500m 予選=予選通過

「1着ということで、いちばん、いい結果で、明日に繋げられるので、とても嬉しいです。3周、後ろで休めたので、それはもう明日、いい調子に合わせられるかなと思っている。頑張ります」

◆和田伸也選手(長瀬産業) T11 1500m 予選=予選通過

「なんかちょっと(選手が)バラけて、前と後ろの人と淡々と走っているような感じで。気持ちよく明日に繋がるイメージで走ることができたのではないかなと思います。(5000mと)連戦になっているので、疲れは少しあるけど、そのほうが体にはいい刺激になって、体が動くかもしれないので、明日はしっかり走りたいたいなと思います。」

◆石山大輝選手(順天堂大学) T12 走り幅跳び

「正直、順位がやっぱ4番なので、もっと頑張らんといかんなと思います。お客さんが多くて、楽しかったです。色々な人がすごい応援してくれた。子供たちとかも、「ジャポーン、ジャポーン」って、言ってくれた。応援してくれる中で、しっかりもっという跳躍して、盛り上げられれば本当はよかったんですけど。ちょっと今回はダメでした。」

◆伊藤竜也選手(新日本工業) T52 400m予選＝予選通過

「無事予選通過とは思いますが、とりあえず予選は突破できれば、あとはなんとかかなるかなと。明日はもう少し力みを減らして、もう少し自分の走りができるかなって思います。僕は障害特性上、汗をかかないので、そこら辺は工夫しないといけないなって思って。今回はスタッフの方についてもらって、アイシングであったり、水とかをギリギリまでいただいていたので、あと、昨日まではちょっと気温が高かったみたいですけど、まあ今日は天候に恵まれたかなって。ちょっと風が強かったかなと印象はあるが、とりあえず、今日の目標は達成できたので、良かったと思います。明日は全力で頑張ります」

◆佐藤友祈選手(モリサワ) T52 400m予選＝予選通過

「予選、普通に通過したので、良かったなと。あとはヒート1でマキシム(ベルギー)が55秒30のタイムを出してくれたので、なんか、ぷつんと糸が切れた。燃えてきたというか。今回走った時も、後半、流しとか言っちゃいけないですけど、明日に向けてしっかり走れるように、無理しない程度に気持ちよく走らせてもらった感じです。明日は世界記録を狙います。自分も全力で世界記録更新にいきいたいなと思っています。」

◆上与那原寛和選手(SMBC日興証券) 400m予選＝予選通過

「結構いい走りが出来ているのかなと思っている。明日、またちょっと修正して、もう少し上げていければいいかなと。(日本人3人(決勝進出)について)みんな4着以内に入りたいですね。はい。そこを目指していければいいかなと思います。チームですから。(競技場は)風が回ったりする。練習のときはずっと向かい風で、今、走ったら追い風向かい風ってコロコロ変わるので、その辺の対策がしっかりできればいいかな。確認と云ったら、もうレース直前の1周しかないなので、そこで確認して、走りを少し考えていかないといけないのかなと思います。」

聞き手 星野恭子